

【本資料は、2023 年 10 月 26 日付で発表された Standard Chartered PLC 3Q'23 Results (一部抜粋) の日本語参考訳です。】

スタンダードチャータード PLC—2023 年度第 3 四半期の業績

別段の注記がない限り、すべての数字は特別要因調整後ベースで表示されており、比較の対象は 2022 年度で報告通貨ベースとしています。特別要因調整後の業績に含まれていない「再編関連コスト」および「その他」の項目の内容は、原文「Standard Chartered PLC 3Q'23 Results」の 29～34 ページに記載しています。

ビル・ウィンターズ グループ最高経営責任者

「昨年発表した 5 つの戦略的アクションは当四半期も飛躍的な進展をみせ、当行グループは好調な収益を実現しました。ウェルスマネジメントの収益は回復を続けて増収率は 2 桁に達し、ファイナンシャルマーケットも、大幅増収となった前年同期との比較では減収となったものの、堅調な業績を維持しました。当行グループは依然として流動性が高く、十分な資本を有しています。普通株式等 Tier 1 比率(CET1 比率)は目標レンジの上限に近い水準にあり、私たちは 10% の RoTE を含む 2023 年度の財務目標の達成に自信を持っています。」

23 年度第 3 四半期の業績の概要（別段の注記がない限り、比較の対象は 2022 年度第 3 四半期）

- 有形資本利益率(RoTE)は、前年同期から2ポイント低下して7.0%となりました。これは主に、当四半期における税金の増加によるものです。
- 収益は6%増収の44億ドルとなり、為替変動の影響を除いたベースでは7%の増収となりました。
 - 為替変動の影響を除いたベースで、純金利収入は20%増収の24億ドル、その他の収入は5%減収の20億ドルとなりました。
 - 正常化された純資金利ざや(NIM)は1.67%と前四半期から4bp縮小、報告ベースの純資金利ざや(NIM)は単発的な要因4bpを含んで1.63%となりました。
 - 為替変動の影響を除いたベースで、ファイナンシャルマーケットは8%の減収、22年度第3四半期に計上された債務時価評価 (MTM)による収益(2,800万ドル)を考慮しなければ6%の減収となりました。
 - ウェルスマネジメントは富裕層新規顧客の増加が続き、為替変動の影響を除いたベースで18%の増収を達成しました。
- 費用は為替変動の影響を除いたベースでは8%増加して28億ドル、前四半期比では2%減少して5,600万ドルとなりました。
 - 物価上昇、ビジネスの成長、ターゲットを絞った投資が、一部は生産性の向上によって相殺されたものの、費用増加の原因となりました。
- 信用減損は前年同期より6,200万ドル、前四半期より1億4,800万ドル増加して2億9,400万ドルとなりました。うち1億8,600万ドルは中国商業用不動産向けローンに関する信用コストで、この中には、マネジメント判断による調整額(現在1億7,800万ドル)の増加分である4,200万ドルが含まれています。
- 特別要因調整後の税引前利益は、2%減益の13億ドルになりました。
- 中国渤海銀行の23年度第2四半期の業績不振とマクロ経済の見通しの厳しさを反映して同行の使用価値(VIU)は低下し、7億ドルの減損費用を計上しました。普通株式等Tier 1比率(CET1比率)への影響は18bpありました。
- 税金は4億9,400万ドルとなりました。特別要因調整後の実効税率は、利益構成とタックス・ベネフィットを認識できない英国での損失拡大を反映し、14ポイント上昇して38%となりました。
- 当行グループのバランスシートは引き続き健全で流動性が高く、十分に分散されています。
 - 顧客向け貸付金その他の金銭債権は23年6月30日から90億ドル(3%)減少して2,810億ドル、特別要因調整後ベースでは20億ドル(1%)の増加となりました。
 - 顧客預金の残高は、流動性カバレッジ比率(LCR)の管理、およびトランザクションバンキング・キャッシュ部門における通常の顧客資金流出への対応により、23年6月30日から170億ドル(3%)減少、為替変動の影響を除いたベースでは140億ドル(3%)減少して、4,530億ドルとなりました。
 - 流動性カバレッジ・レシオは156%(23年6月30時点では164%)、預貸率は54.5%となっています(23年6月30日時点では53.6%)。
- リスク・アセット(RWA)は23年6月30日から80億ドル(3%)減少し、2,420億ドルとなりました。
 - 信用リスク・アセットは、主に最適化と効率化の取り組み、および中国渤海銀行に関する減損費用の計上により、90億ドル減少しました。
 - 市場リスク・アセットは10億ドル増加、オペレーショナルリスク・アセットは安定的に推移しています。
- 当行グループは引き続き盤石な自己資本を有しています。
 - 普通株式等Tier 1比率(CET1比率)は13.9%と、目標レンジである13-14%の上限に近い水準にあります(23年6月30日時点では14.0%)。
 - 2023年に発表した20億ドルの自社株買いの予定のうち18億ドルが完了しました。

23 年度第 1～第 3 四半期の業績の概要（別段の注記がない限り、比較の対象は 22 年度第 1～第 3 四半期）

- 有形資本利益率(RoTE)は、前年同期から1ポイント上昇して10.4%になりました。
- 収益は11%増収の134億ドル、為替変動の影響を除いたベースでは15%の増収となりました。
 - 純金利収入は為替変動の影響を除いたベースで30%増収の72億ドル、その他の収入は1%増収の62億ドルとなりました。
 - 純資金利ざや(NIM)は30bp拡大し、1.66%になりました。

- ファイナンシャルマーケットは為替変動の影響を除いたベースでは横ばい、22年度第1～第3四半期における債務の時価評価 (MTM)による一過性の収益(2億4,400万ドル)を考慮しなければ7%の増収となりました。ウェルスマネジメントの収益は、為替変動の影響を除いたベースで9%の増収となりました。
- 費用は8%増、為替変動の影響を除いたベースでは11%の増加となりました。物価上昇、ビジネスの成長、ターゲットを絞った投資が、一部は生産性の向上によって相殺されたものの、費用増加の原因となりました。
- 年初来の収益の伸び率は費用の増加率を4%上回りました。費用対収益率は2ポイント上昇して62%となりました。
- 信用減損は前年同期より3,000万ドル減少し、4億6,600万ドルとなりました。
- 信用損失率は年率換算で20bps (前年同期から2bps低下)となりました。
- 中国商業用不動産セクター・ポートフォリオのステージ3のエクスポージャー14億ドルに対し、予想貸倒引当金11億ドルを計上しています。担保を含む不良貸付貸倒引当率は88%です。
- 特別要因調整後の税引前利益は、為替変動の影響を除いたベースで19%増益の46億ドルになりました。
- 特別要因調整後ベースの1株当たり利益(EPS)は、89.6セントから10%増加して98.4セントになりました。報告ベースのEPSは21%減少して74.9セントになりました。

23 年度第 1～第 3 四半期の戦略的アクションの進捗状況（別段の記載がない場合）

- 法人営業・コマーシャル・バンキング部門(CCIB)におけるリターンの向上: リスク・アセット対比収益率は、6.5%の目標をおいた2024年度に先立って7.9%に達しました。22年年初から約220億ドルのリスク・アセット(RWA)を削減し、計画より1年以上前倒しで、220億ドルの削減目標をほぼ達成しました。
- コンシューマー/プライベート/ビジネス・バンキング部門(CPBB)における収益性の転換: 費用収益比率の2024年度の目標を60%としていましたが、すでに、前年同期から11ポイント改善して58%となっています。22年年初来の総費用削減額は3億ドルに達しています。
- 中国における機会の獲得: 中国のオンショアおよびオフショア事業の税引前利益は10億ドルと、前年同期から約3倍に増加しました。
- オペレーションのレバレッジの創出: 生産性の向上により22年年初から総額で7億ドルの費用を削減、費用収益比率は2ポイント改善して62%となりました。
- 潤沢な株主還元: 22年年初発表された株主還元額は、総額39億ドルに達しました。

その他のハイライト

- 航空機事業からの撤退: 当行グループは8月に、国際的な航空機事業から撤退することを発表しました。年内に取引を完了する予定で、これにより第4四半期の普通株式等Tier 1比率(CET1比率)は19bps上昇する見込みです。

見通し

当行グループは力強い進展を続けている 5 つの戦略的アクションに支えられて有形資本利益率(RoTE)の目標を達成できると、私共は引き続き確信しています。

2023 年度のガイダンスは以下の通りです。

- 収益は、為替変動の影響を除いたベースで12～14%のレンジで増加する見通しです。
- 通年の平均純資金利ざや(NIM)は170bpに近づく予想します。
- 下半期(23年6月30日から)の特別要因調整後ベースの資産の増加率(%)は、一桁台の前半になると考えます。
- リスク・アセット(RWA)の水準は22年12月31日時点とほぼ同水準になる見通しです。
- 英国銀行税と為替変動の影響を除いたベースでは、収益の伸び率は費用の増加率を4%程度上回るでしょう。
- 通年の信用損失率は17-25bpsのレンジ内になるとみています。
- 特別要因調整後の実効税率は30%前後になると予想されます。
- 当行グループはCET1比率を13-14%の目標レンジ内に維持しながら、ダイナミックにビジネスを展開していきます。
- 有形資本利益率(RoTE) は10%を目指します。

2024 年度のガイダンスは上記から変更はありません。当行グループは、為替変動の影響を除いたベースでの収益の増加率は 8～10%のレンジになるとの予想を維持しており、11%を超える有形資本利益率(RoTE)を実現することに自信を持っています。

他の通貨を指すと明記されている場合を除き、本資料内の「ドル」という語または「\$」の記号は米国ドルを指し、「セント」という語または「c」の記号は 1 ドルの 1/100 を意味します。

本資料に記載する情報は監査を受けていません。

本資料内で文脈上別段の解釈が必要な場合を除き、「中国」は中華人民共和国を指し、本資料においてのみ、香港特別行政区(香港)、マカオ特別行政区(マカオ)および台湾は含まれません。「韓国」は大韓民国を指し、「アジア」にはオーストラリア、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、ベトナム、中国、香港、日本、韓国、マカオ、台湾が含まれ、「アフリカ・中東(AME)」には、アンゴラ、バーレーン、ボツワナ、カメルーン、コートジボワール、エジプト、ガンビア、イラク、ケニア、レバノン、モリシャス、ナイジェリア、オマーン、パキスタン、カタール、サウジアラビア、シエラレオネ、南アフリカ、タンザニア、アラブ首長国連邦(UAE)、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエが含まれます。また「ヨーロッパ・米州(EA)」には、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、フォークランド諸島、フランス、ドイツ、アイルランド、ジャージー、ポーランド、スウェーデン、トルコ、英国、米国が含まれます。

本資料内の表において、空欄は数値が開示されていないこと、ダッシュは数値がゼロであること、「nm」は数値が僅少であることを示します。

スタンダードチャータードPLCはイングランドおよびウェールズにおいて設立された有限責任会社であり、ロンドンに本社を置きます。当行グループの本公司は、ガバナンスおよび規制基準に関する助言を提供しています。スタンダードチャータードPLCの株式の銘柄コードは LSE STAN.LNおよびHKSE 02888 です。

【参考訳に関するご留意事項】この資料は、スタンダードチャータード銀行東京支店(以下、「当行」と言います。)が、お客様の便宜のために、英語 その他の言語の情報を日本語に翻訳し、提供させていただいております。従いまして、当行は、この資料に記載された情報につきまして、独自の検証を行っておりません。専門用語のみならず、翻訳の正確性も保証しておりません。英文資料が正文であり、英文資料と翻訳との間で齟齬がある場合には、英文資料が全てにおいて優先します。

損益計算書

	23 年度第 3 四半期 (百万米ドル)	22 年度第 3 四半期 (百万米ドル)	増減 ¹ (%)
特別要因調整後ベースの業績²			
営業収益	4,403	4,138	6
営業費用(英国銀行税を含む)	(2,770)	(2,576)	(8)
信用減損	(294)	(232)	(27)
その他減損費用	(26)	—	nm ⁸
関連会社利益	3	16	(81)
税引前利益	1,316	1,346	(2)
普通株主に帰すべき利益(損失) ³	644	915	(30)
普通株主有形資本利益率(%)	7.0	9.4	(240)bps
費用収益比率(銀行税を除く)(%)	62.9	62.3	(60)bps
報告ベースの業績⁴			
営業収益	4,523	4,329	4
営業費用	(2,870)	(2,696)	(6)
信用減損	(292)	(227)	(29)
その他減損費用	(734)	(31)	nm ⁸
関連会社利益	6	16	(63)
税引前利益	633	1,391	(54)
税金	(494)	(313)	(58)
当期利益	139	1,078	(87)
親会社株主に帰すべき利益(損失)	145	1,087	(87)
普通株主に帰すべき利益(損失) ³	(35)	964	(104)
普通株主有形資本利益率(%)	(0.4)	10.5	(1,090)bps
費用収益比率(銀行税を含む)(%)	63.5	62.3	(120)bps
純資金利ざや(%) ⁷ (調整後) ⁷	1.63	1.43	(20)bps
バランスシートと資本			
	23 年 9 月 30 日 (百万米ドル)	22 年 9 月 30 日 (百万米ドル)	増減 %
総資産	825,833	864,435	(4)
総資本	48,356	50,003	(3)
普通株主に帰すべき平均有形株主資本	35,693	36,569	(2)
顧客向け貸付金その他の金銭債権	281,009	298,390	(6)
顧客口座	453,157	447,259	1
リスク・アセット	241,506	252,293	(4)
総自己資本	51,112	53,491	(4)
総自己資本(%)	21.2	21.2	0bps
普通株式等Tier 1	33,569	34,504	(3)
普通株式等Tier 1比率(%)	13.9	13.7	20bps
預貸率(%) ⁴	54.5	58.1	(3.6)
流動性カパレッジ率(%)	156.3	156.0	nm ⁸
レバレッジ率(%)	4.7	4.8	(10)bps
普通株式1株当たりの情報			
	セント	セント	増減 %
1株当たり利益—特別要因調整後ベース ⁵	23.2	31.0	(7.8)
—報告ベース ⁵	(1.3)	32.7	(34.0)
1株当たり純資産額	1,504	1,433	71
1株当たり純有形固定資産額 ⁶	1,283	1,243	40
期末時点の普通株式数(百万株)	2,725	2,905	(6)

- 資産、債務、リスク・アセット以外については、「増減」は改善/(悪化)を示します。総自己資本比率(%), 普通株式等Tier 1比率(%), 純資金利ざや(%), 預貸率(%), 流動性カパレッジ率(%), レバレッジ率(%), 費用収益比率(%), 普通株主有形資本利益率(%)については、増減は増減率ではなく、二時点間のパーセンテージ・ポイントの差で示されています。1株当たり利益、1株当たり純資産額、1株当たり純有形固定資産額については、増減は増減率ではなく、二時点間のセントの差で示されています。
- 2022年度の該当期間における特別要因調整後ベースの業績は、(i) アフリカ・中東地域における撤退した市場とビジネス、(ii) 債務評価調整(DVA)を除いて修正されています。報告ベースの業績については変更はありません。
- 「普通株主に帰すべき利益」は、非累積償還優先株、および株式に分類されるその他 Tier1(AT1)資本証券の保有者に対する支払配当を控除した後の数値です。
- 本比率の算出にあたっては、「顧客向け貸付金その他の金銭債権」の総額には、リバース・レボ契約等担保貸出金、およびストレス時に返済可能と確認された、中央銀行に保有された承認済みの該当期間における「損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される顧客向け貸付金その他の金銭債権」は含んでいます。総顧客口座数は、FVTPLで保有される顧客口座を含んでいます。
- 特別要因調整後ベースまたは報告ベースの利益を基本的加重平均株式数で割った数値です。前期の数値は22年度第1～第3四半期の数値です。
- 期末時点の純資産額、純有形固定資産額および株式数により算出した数値です。
- 「純資金利ざや」は調整後の純金利収入を平均利付資産額で割り、年率換算した数値です。
- 僅少
- 本中間財務報告書における「報告ベースの業績」とは、英国において採用されているIASおよびEU IFRSに基づいて報告される金額を意味します。過年度においては、「報告ベースの業績」は「法定ベースの業績」として記載されていました。

補足財務情報

顧客セグメント別の特別要因調整後の業績

23 年度第 3 四半期					
	法人営業・ コマーシャル・バンキング 部門 (百万米ドル)	コンシューマー/ プライベート/ ビジネス・バンキング 部門 (百万米ドル)	ベンチャー部門 (百万米ドル)	その他 (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)
営業収益	2,814	1,849	35	(295)	4,403
外部収益	2,084	1,003	35	1,281	4,403
セグメント間収益	730	846	—	(1,576)	—
営業費用	(1,387)	(1,065)	(109)	(209)	(2,770)
クレジットコスト・税引前営業利益(損失)	1,427	784	(74)	(504)	1,633
信用減損	(159)	(115)	(30)	10	(294)
その他減損費用	(13)	—	(9)	(4)	(26)
関連会社利益	—	—	(4)	7	3
特別要因調整後の税引前利益(損失)	1,255	669	(117)	(491)	1,316
再編関連コスト	11	(17)	—	(1)	(7)
営業権その他の減損費用 ³	—	—	—	(697)	(697)
DVA	21	—	—	—	21
報告ベースの税引前利益(損失)	1,287	652	(117)	(1,189)	633
総資産	395,938	126,714	3,398	299,783	825,833
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ¹	177,542	124,178	1,014	26,686	329,420
顧客向け貸付金その他の金銭債権	129,147	124,162	1,014	26,686	281,009
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	48,395	16	—	—	48,411
総債務	471,272	190,925	2,581	112,699	777,477
うち顧客口座 ¹	319,785	186,131	2,316	7,590	515,822
リスク・アセット	143,386	50,365	1,786	45,969	241,506
リスク・アセット対比収益率(%)	7.8	14.5	8.3	(2.4)	7.1
特別要因調整後の有形資本利益率(%)	17.9	27.2	nm ⁴	(38.5)	7.0
費用収益比率(銀行税を除く)(%)	49.3	57.6	nm ⁴	nm ⁴	62.9

22 年度第 3 四半期 ²					
	法人営業・ コマーシャル・バンキング 部門 (百万米ドル)	コンシューマー/ プライベート/ ビジネス・バンキング 部門 (百万米ドル)	ベンチャー部門 (百万米ドル)	その他 (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)
営業収益	2,572	1,591	10	(35)	4,138
外部収益	2,232	1,278	10	618	4,138
セグメント間収益	340	313	—	(653)	—
営業費用	(1,276)	(1,024)	(87)	(189)	(2,576)
クレジットコスト・税引前営業利益(損失)	1,296	567	(77)	(224)	1,562
信用減損	(87)	(86)	(4)	(55)	(232)
その他減損費用	—	—	—	—	—
関連会社利益	—	—	(4)	20	16
特別要因調整後の税引前利益(損失)	1,209	481	(85)	(259)	1,346
再編関連コスト	18	(22)	—	(6)	(10)
DVA	55	—	—	—	55
報告ベースの税引前報告利益(損失)	1,282	459	(85)	(265)	1,391
総資産	453,985	129,698	1,574	279,178	864,435
うち顧客への貸付金その他の金銭債権 ¹	190,782	126,961	480	35,388	353,611
顧客向け貸付金その他の金銭債権	138,017	126,927	480	32,966	298,390
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	52,765	34	—	2,422	55,221
総債務	534,469	176,087	981	102,895	814,432
うち顧客口座 ¹	332,833	171,730	886	6,517	511,966
リスク・アセット	149,779	50,923	1,158	50,433	252,293
リスク・アセット対比収益率(%)	6.8	12.3	5.1	(0.3)	6.5
特別要因調整後の有形資本利益率(%)	16.5	19.2	nm ⁴	(15.9)	9.4
費用収益比率(銀行税を除く)(%)	49.5	64.4	nm ⁴	nm ⁴	62.3

- 「顧客向け貸付金その他の金銭債権」には損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有されるものを含み、「顧客口座」には、FVTPLで保有されるものおよびレボ契約を含みます。
- 2022年度の該当期間における特別要因調整後ベースの業績は、(i) アフリカ・中東地域における撤退した市場とビジネス、(ii) 航空機ファイナンス、(iii) DVAを除いて修正されています。報告ベースの業績については変更はありません。
- 「営業権その他の減損費用」には、当行グループの関連会社である中国渤海銀行への投資に係る6億9,700万ドルの減損費用を含みます。
- 僅少

地域別の特別要因調整後の業績

23 年度第 3 四半期

	アジア (百万米ドル)	アフリカ・ 中東 (百万米ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万米ドル)	その他 (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)
営業収益	3,169	677	337	220	4,403
営業費用	(1,797)	(398)	(447)	(128)	(2,770)
クレジットコスト・税引前営業利益(損失)	1,372	279	(110)	92	1,633
信用減損	(311)	(2)	18	1	(294)
その他減損費用	(7)	(4)	2	(17)	(26)
関連会社利益	9	—	—	(6)	3
特別要因調整後の税引前利益(損失)	1,063	273	(90)	70	1,316
再編関連コスト	(36)	(19)	(6)	54	(7)
営業権その他の減損費用 ⁶	(697)	—	—	—	(697)
DVA	—	16	5	—	21
報告ベースの税引前報告利益(損失)	330	270	(91)	124	633
総資産	498,242	51,170	267,503	8,918	825,833
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ¹	248,983	22,273	58,164	—	329,420
顧客向け貸付金その他の金銭債権	235,692	19,482	25,835	—	281,009
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	13,291	2,791	32,329	—	48,411
総債務	451,638	41,534	202,250	82,055	777,477
うち顧客口座 ¹	356,439	32,276	127,107	—	515,822
リスク・アセット	150,842	38,529	48,227	3,908	241,506
リスク・アセット対比収益率(%) ²	8.2	6.8	2.7	22.1	7.1
特別要因調整後の有形資本利益率(%)	14.7	13.1	(3.9)	nm ⁶	7.0
費用収益比率(%) ³	56.7	58.8	132.6	nm ⁶	62.9

22 年度第 3 四半期 ⁴

	アジア (百万米ドル)	アフリカ・ 中東 (百万米ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万米ドル)	その他 (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)
営業収益	2,891	616	580	51	4,138
営業費用	(1,665)	(395)	(371)	(145)	(2,576)
クレジットコスト・税引前営業利益(損失)	1,226	221	209	(94)	1,562
信用減損	(193)	(73)	34	—	(232)
その他減損費用	—	2	1	(3)	—
関連会社利益	20	—	—	(4)	16
特別要因調整後の税引前利益(損失)	1,053	150	244	(101)	1,346
再編関連コスト	(36)	16	18	(8)	(10)
DVA	22	6	27	—	55
報告ベースの税引前報告利益(損失)	1,039	172	289	(109)	1,391
総資産	497,193	54,724	303,617	8,901	864,435
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ¹	258,911	24,705	69,995	—	353,611
顧客向け貸付金その他の金銭債権	242,700	23,644	32,046	—	298,390
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	16,211	1,061	37,949	—	55,221
総債務	452,959	41,116	249,771	70,586	814,432
うち顧客口座 ¹	334,954	31,697	145,315	—	511,966
リスク・アセット	156,553	42,746	50,779	2,215	252,293
リスク・アセット対比収益率(%) ²	7.3	5.6	4.6	12.3	6.5
特別要因調整後の有形資本利益率(%) ²	14.1	7.1	10.1	nm ⁶	9.4
費用収益比率(%) ³	57.6	64.1	64.0	nm ⁶	62.3

1 「顧客向け貸付金その他の金銭債権」には損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有されるものを含み、「顧客口座」には、FVTPLで保有されるものおよびレボ契約を含みます。

2 増減は増減率ではなく、2期間の間のベースポイント(bps)の差で示されています。

3 増減は増減率ではなく、2期間の間のパーセンテージ・ポイントの差で示されています。

4 2022年度の該当期間における特別要因調整後ベースの業績は、(i) アフリカ・中東地域における撤退した市場とビジネス、(ii) 航空機ファイナンス、(iii) DVAを除いて修正されています。報告ベースの業績については変更はありません。

5 「営業権その他の減損費用」には、当行グループの関連会社である中国渤海銀行への投資に関係する6億9,700万ドルの減損費用を含みます。

6 僅少